

【尾小屋鉱山】

尾小屋鉱山は、日本有数の銅鉱山として知られています。おもに銅鉱石が採掘され、製錬を経て粗銅が生産されていました。ほかには、鉛、亜鉛、硫化鉄の鉱石が採掘されていました。

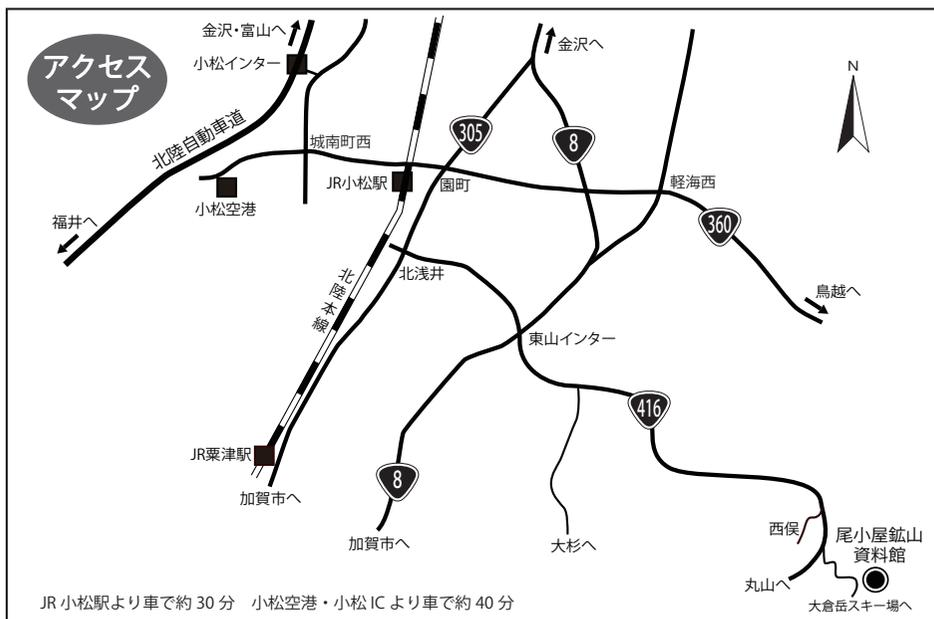
尾小屋鉱山の始まりは、あまり詳しく知られていませんが、古くは天和2年（1682）に採掘されていた記録が残っています。本格的な採掘は明治10年代からです。

江戸時代に加賀藩旧家老を務めた横山家が経営に乗り出し、日本有数の鉱山へと発展しました。

産銅量は、明治44年（1911）には1,000トン、大正8年（1919）には2,000トンを超えました。しかし、大正9年に労働争議が始まり、昭和6年（1931）、日本鉱業株式会社に経営が移りました。昭和30年に尾小屋鉱山史上最大の2,820トンを生産しました。しかしその後、日本各地の銅山と同様に、安価な海外銅の国内流入などで経営が停滞し、昭和37年（1962）、製錬の火が消え、尾小屋鉱山本山が閉山。昭和46年（1971）には支山が閉山し、尾小屋鉱山は廃止となりました。

【尾小屋鉱山資料館・尾小屋マインロード】

尾小屋鉱山資料館は、尾小屋鉱山の貴重な産業遺産と文化を後世に伝えるため、昭和59年（1984）開館し、尾小屋マインロードは平成4年（1992）にオープンしました。



【入館料】

一般	500 円
団体（20 名以上）	400 円

高校生以下無料

障がい者手帳（本人と付添1名）無料
こまつミュージアム・パス使えます

【開館時間】

9:00 ~ 17:00（入館は 16:30 まで）

【休館日】

水曜日（祝日を除く）・

祝日の翌日（土日祝日を除く）・

12 月 1 日 ~ 翌年 3 月 24 日

尾小屋鉱山資料館

〒923-0172 石川県小松市尾小屋町カ1-1

電話：(0761) 67-1122 (FAX 共用)

【近隣施設】

小松市立ポッポ汽車展示館

尾小屋鉄道で活躍していた蒸気機関車（No.5）、
気動車（キハ3）、客車（ハフ1）の3両を保管。
オープンスペースで随時見学可能。

石川県立尾小屋鉱山資料館・尾小屋マインロード



尾小屋鉱山資料館



<https://komatsu-museum.jp/ogoya/>